**資料５－１別紙**

「条例検討資料等」に対する主な意見

○　子ども・子育て会議

* 子どもが権利の主体であること。
* 子ども目線で丁寧に書き込むとよい。
* 虐待といじめは質が違うので、別立てにするとよい。

○　総合教育会議

* もともと育つ力と生きる力も持って生まれてきた、心も体も健康な子どもたちが、好奇心を忘れずに、自由にのびのびと生きられる環境づくりが大事である。
* 貧困、育児放棄、虐待から守って、安全・安心、そして人を信じられる、自分を信じられるという心の土台をつくってあげることが大事なスタートラインである。
* 制定の過程も大事にして、子どもたちの目線が入るような場をつくっていけるとよい。

○　庁内

* 障害のある子への支援を明記するとよい。
* 地域で子育てを強めに謳うとよい。

○　小学生

* 広場や遊ぶ場所を増やしてほしい。
* 自然や緑を増やしてほしい。
* プログラマーになりたい。

○　中学生

* 学校をより安全にきれいにしてほしい。
* バラつきなく平等に支援してほしい。
* 子どもがどのように思っているのか理解してほしい。
* 子どもたちが意見を言いやすくし、それを色々なところへ反映してほしい。

○　高校生

* 子どもが意見を言いやすいようにＳＮＳなどを活用すべきである。
* 解決するよりも逃げ道を増やしてあげるべきである。
* いじめの救済後の長期的なケアをするべきである。
* 公共の場の使い方や周りの人への配慮について、学習すべきである。

○　鎌倉市子どもの家連絡協議会

* シングルマザー、結婚していないなど、さまざまな家庭が増えている。多様な家庭環境への支援をした方がよいのではないか。
* 全体的に当たり前の条例に感じる。条例を作ること自体が目的となっていないか。実現し、きちんとやることが重要であり、どう実行に移すのかという点をしっかり考えてほしい。